

保護者様

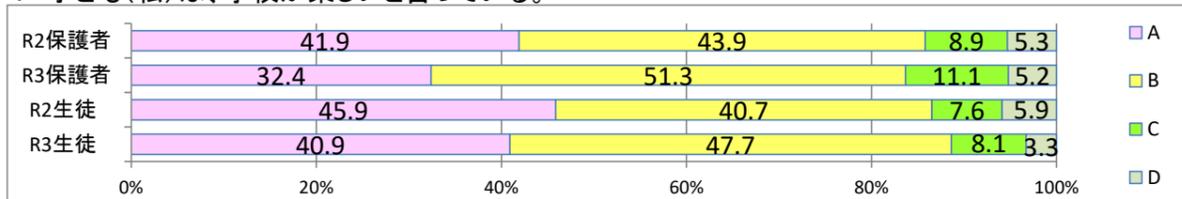
荒尾市立荒尾第三中学校
校長 森川 孝巳

令和3年度学校関係者評価【保護者及び生徒】集計結果について(報告)

春まだ浅いこの頃、保護者のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のことと拝察いたします。先日、ご協力いただきました標記について、以下のとおり報告します。

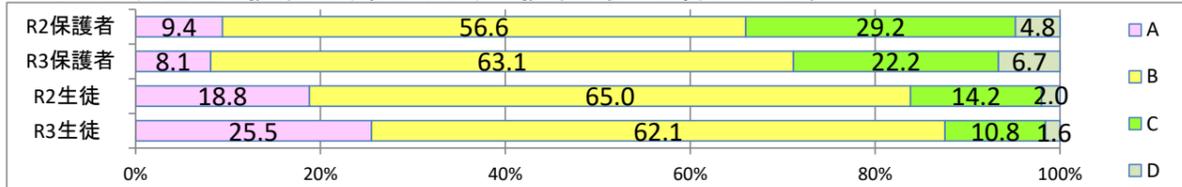
評価基準 A: そう思う B: どちらかと言えば、そう思う C: どちらかと言えば、そう思わない D: そうは思わない

1 子ども(私)は、学校が楽しいと言っている。



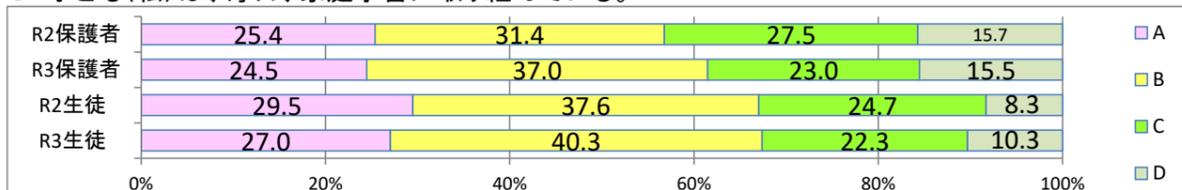
保護者、生徒ともにAとBのあわせた割合が高く(80%以上に)なっています。特に、生徒は前年度よりも増えています。今後も引き続き、さらに充実した教育活動を展開し、生徒が安心して楽しく過ごせる学校づくりを進めていきます。

2 子ども(先生達の授業)は、わかりやすい授業が多いと言っている。



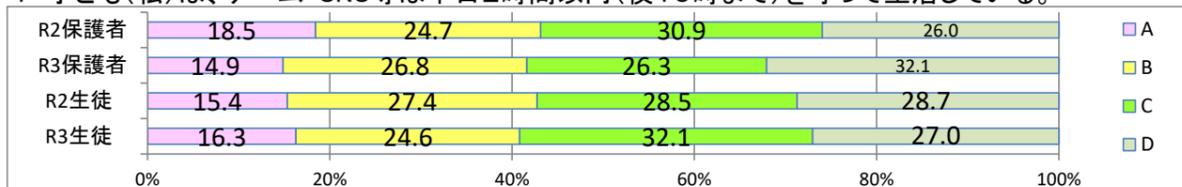
保護者、生徒ともに評価のAとBのあわせた割合が、昨年度よりも高くなっています。教職員一人一人の授業改善が図られています。今後も生徒の主体的な活動が確保された授業を充実させ、「わかる授業」を目指して授業改善を行います。

3 子ども(私)は、毎日、家庭学習に取り組んでいる。



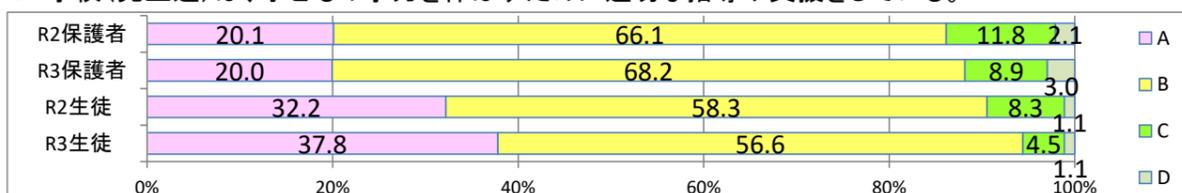
保護者、生徒ともに評価のAとBのあわせた割合が、昨年度よりも高くなっています。家庭学習の習慣化が図られてきていると考えていますが、80%の目標達成と内容の充実を目指す取組を行っています。

4 子ども(私)は、ゲーム・SNS等は平日2時間以内(夜10時まで)を守って生活している。



保護者、生徒の評価のAとBの割合が前年度と同様50%を下回っていることが課題です。生徒がメディア時間を自分でコントロールできる力をつけていくためにさらに家庭との連携を図りながら取組を進めていきます。

5 学校(先生達)は、子どもの学力を伸ばすために適切な指導や支援をしている。



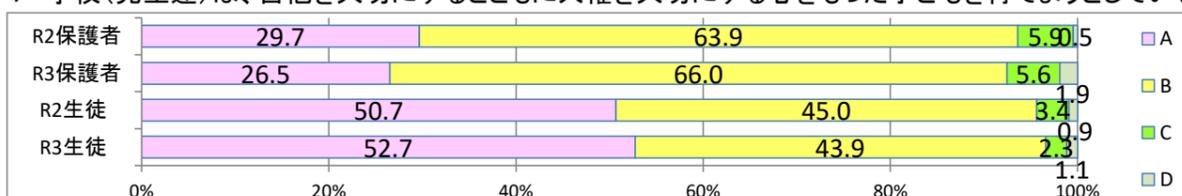
生徒、保護者ともに、評価のAとBを合わせた割合が増えています。今年度の県学力調査の結果を十分考察し、授業の中での取組とともに、朝自習の時間を活用して、学力充実の支援に努めていきます。

6 学校(先生達)は、子どもの学力を適切に評価している。



保護者、生徒ともに評価のAとBを合わせた割合は、90%以上と高い値を示しています。さらに、「認め、ほめ、励まし、伸ばす」ことを大切に、生徒の学力を適切に評価し、保護者への説明も丁寧に行っています。

7 学校(先生達)は、自他を大切にするとともに人権を大切にすることを心もった子どもを育てようとしている。



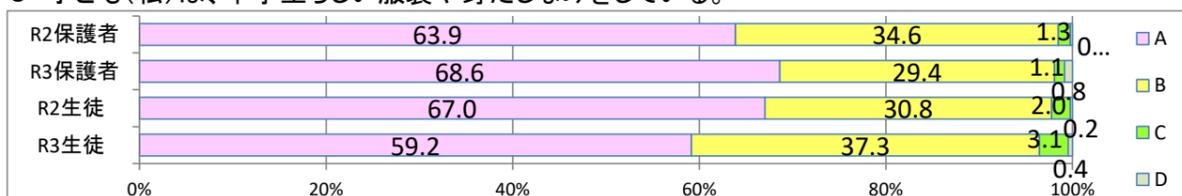
本年度までの2年間、荒尾市教育委員会の指定を受け、「多様性を尊重し、一人一人に心の居場所のある学校づくり」のテーマのもと、職員と生徒が一体となり、校内研究を進めており、保護者、生徒とも、評価のAとBの割合が90%以上と高い値を示しています。

8 学校(先生達)は、子どもの気持ちに寄り添い、理解しようとしている。



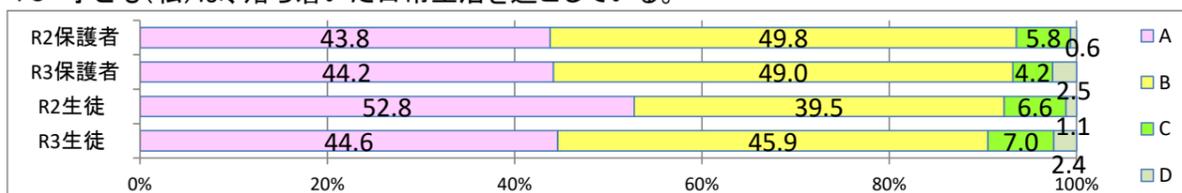
生徒の評価のAとBの割合は昨年度より増えています。今後も、定期的な教育相談はもとより、生徒のノートや日常の様子などから変化をとらえ、一人一人の相談に耳を傾け、丁寧できめ細かな対応を行っています。

9 子ども(私)は、中学生らしい服装や身だしなみをしている。



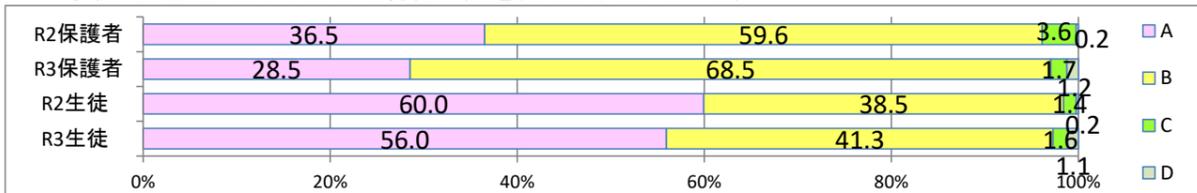
保護者、生徒ともに評価のAとBの割合は非常に高くなっています。生徒は日頃から服装や身だしなみに気をつけて生活しています。家庭でのご協力のおかげでもありと考えています。今後も生徒会活動とも連携した取組を行います。

10 子ども(私)は、落ち着いた日常生活を過ごしている。



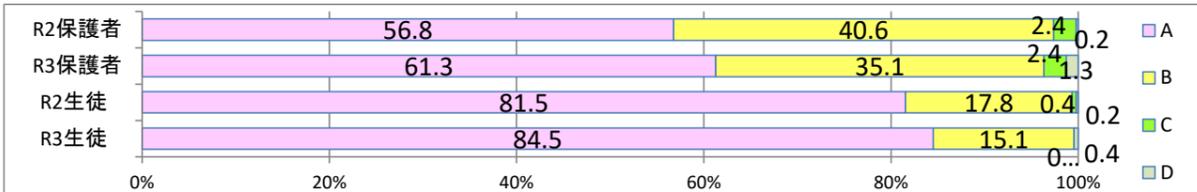
保護者、生徒ともに評価のAとBの割合が90%を超えています。今後も家庭と連携し、担任や生徒指導部を中心に、基本的な生活習慣の定着に努めております。他の人のことを考えた行動ができるようにするとともに、事故やけががないよう指導していきます。

11 学校(先生達)は、子どもの規範意識を育てようとしている。



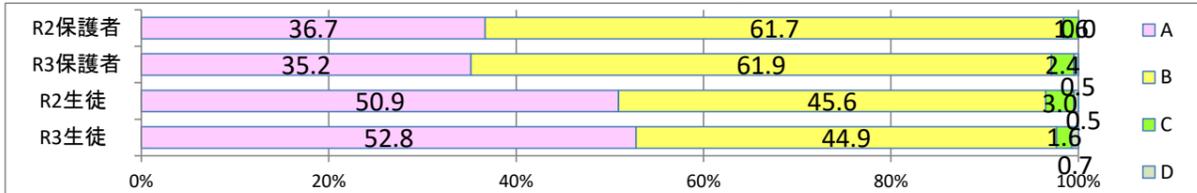
保護者、生徒とも、評価のAとBを合わせた割合が非常に高くなっています。道徳をはじめ生徒集会や学級で、きまりの意義やきまりを守ることの大切さについて触れながら、生活全般において実践できるように生徒会活動とも連携し取組を行っています。

12 子ども(私)は、登下校中、交通ルールを守っている。



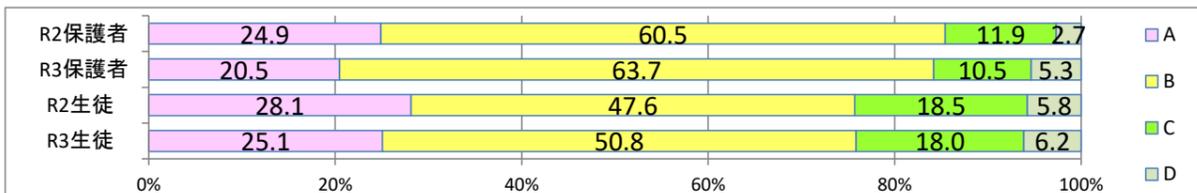
保護者、生徒とも評価のAとBを合わせた割合が非常に高い値を示しています。しかし、地域からの指摘を受けることもありその都度指導しています。地域・家庭と連携しながら、ルールを守って安全に登下校できるように指導していきます。

13 学校(先生達)は、施設の安全を整備し、潤いのある教育環境づくりに努めている。



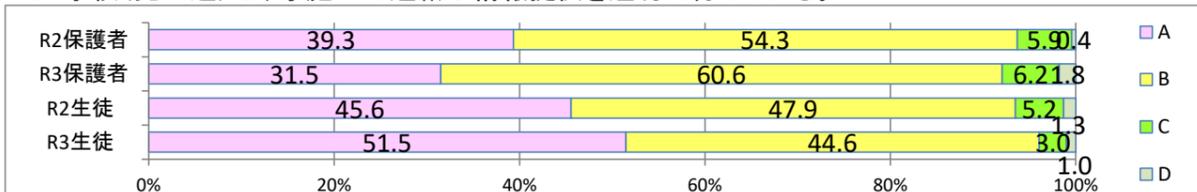
保護者、生徒ともに評価のAとBを合わせた割合が90%を超えています。地域・保護者のご協力で、花はきれいに咲いております。今後も、学校支援協議会と連携しながら、生徒が安全で、心豊かな学校生活を送れるよう、環境整備に努めていきます。

14 学校(先生達)は、子どものことで相談しやすい雰囲気である。



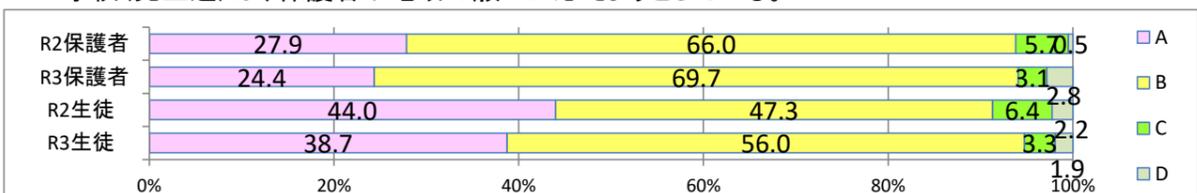
生徒の割合より保護者の割合が高く、保護者にとっては相談しやすい雰囲気があると感じていただけていると考えています。今後は、さらに生徒にとっても先生はもっと相談しやすい関係であるよう、日頃からのコミュニケーションを大切にしていきます。

15 学校(先生達)は、家庭への連絡や情報提供を適切に行っている。



保護者、生徒の評価のAとBを合わせた割合は90%を超えています。今後も、学校からのお便りやホームページの内容等をさらに充実させ、安心・安全メール等を通じて、家庭への連絡や情報提供を継続して行います。

16 学校(先生達)は、保護者や地域の願いに応えようとしている。



保護者、生徒の評価のAとBを合わせた割合が昨年度と比べて増えています。今後もさらに、今回いただいたご意見を含め、PTA活動と連携して保護者や地域の願いを集約しながら、学校総体として地域とともにある学校づくりに努めていきます。

【学校支援協議会からのご意見】

○コロナ禍で、家庭にいる時間が長く、家庭学習や手伝いなどの時間が十分取れるはずだが、メディアコントロールができなくて、ついつい時間を守れない状態が目に見えるようです。
 ○心の居場所の学校づくりは、人権を大切に子どもたちの気持ちに寄り添った教育ができていると思います。
 ○礼儀正しい生徒達の姿が多く、地域に目を向け関心を持って地域貢献できる生徒が増えることを期待します。
 ○学校全体が落ち着いた雰囲気があり、教育効果が上がっていると感じます。
 ○先生方が何年でも三中にいたいという学校づくりを継続してください。
 ○交通ルールなどは、認識の差があるため、とても難しい部分と思いますが、1つ1つ解決していかねばならないものなので、地域・保護者・学校が協力していく必要があると思います。
 ○学校が全体的に落ち着いている感じます。校舎や校内もとてもきれいで、良い環境だと思っています。制服もきちんとしていると思います。先生方の細やかな日々の指導に心より感謝いたします。
 ○総合的に生徒、保護者からの評価が良く、さすが三中！と安定した学校経営がされていると思います。ただ、設問4のゲーム・SNS等の評価は、私の子どもたちの頃からあまり良くないようです。三中校区メディアコントロールからの評価と思われるが、時代の変化に沿った内容を検討してみてもどうでしょうか。今の子どもたちは将来の生活や仕事において、パソコン、スマホ・SNS等は必ず必要になると思います。今でも、タブレットを使用した授業等が行われている中で、2時間という時間ばかりではなく、使用中身で評価する方法に変えるなど、北九州の女子高生がエクセルの世界一になった様に小学生からエクセルやワードに親しんでおくのは有意義で、中学生になると他に電子プログラミングやeスポーツの様々なタブレットを使用した競技大会を校内や他校と行うなど、将来の選択肢を増やす上でも、検討の余地があると思います。

【まとめ】

本年度の「学校関係者評価【保護者及び生徒】」は、初めて携帯電話やスマートフォン・タブレット等での回答方式で行いました。保護者の回収率は96.0%(昨年度94.7%)でした。ご理解とご協力大変ありがとうございました。
 本年度は、学校教育目標を「自立型人間の育成～本気の教育でなければ子どもは変わらない～」とし、全ての教育活動を通して、その実現に努めてきました。評価につきましては、肯定的な評価をされた項目が多く、日頃の教育活動に一定の評価をいただいたと感じています。これも生徒が落ち着いた学校生活を送れているからこそだと考えています。本校は、令和2・3年度の2年間、荒尾市教育委員会指定で、「多様性を尊重し、一人一人に心の居場所のある学校づくり～一人にこだわって、チームで対応する取組をとおして～」というテーマで研究しており、設問1、7、8、14の項目において、生徒の肯定的な評価は昨年度より増えています。研究の成果が表れていると考えています。今後は、さらに保護者の考えをお聞きしながら、生徒一人一人に目を配り、生徒の心の居場所を作ることを大切にしていきたいと思っています。
 学習面に関しては、「わかりやすい授業」、「毎日の家庭学習の習慣化」を目指しているところで、設問2、3で生徒と保護者ともに評価が伸びていることはうれしく感じています。さらに誰一人取り残さないための授業改善と家庭学習の充実を図る取組を行っています。
 設問4については、保護者、生徒ともに評価が低く、大きな課題の1つです。今年度は、テスト期間や長期休業中に、学習・起床・就寝・メディア時間を自分で決め、実行し、反省する取組を始め、自らよりよい生活習慣を目指して、生徒たちが行動しよう意識するようになってきました。今後も学校教育目標「自立型人間の育成」を目指し、家庭と連携した取組を継続していきたいと思っています。
 生徒の登下校については、日頃の指導はもちろん、PTA防犯指導委員会等でも年数回指導いただいておりますが、地域や保護者から心配するご意見もあっています。今後は、生徒が交通ルールやマナーを守り、事故のないよう継続した指導に努めたいと思います。
 施設の安全整備や潤いのある教育環境については、PTA活動や地域のボランティアの方々の協力を得ながら、本年度は生徒とともに花植え作業を充実させました。体育館北側に新たに花壇を整備し、来年度はコスモスを植える予定です。今後は温かみと潤いのある学校づくりを目指します。
 上記の項目以外でも、学校に対して多くの励ましのご意見をいただいております。ありがとうございます。また、心配されているご意見に対しては、職員全員で共有し、担当を中心に早急に対応したり、今後の指導にいかしたりしていきたいと考えています。
 最後に、PTA活動をはじめ、学校支援協議会、関係小学校、市教育委員会等、関係機関との連携・協力をさらに強化しながら、保護者や地域とともにある学校として様々な情報を共有し、一つ一つの課題に丁寧に対応していきたいと考えております。今後とも、皆様の本校教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い致します。